



## 2019年 若手交流会実施報告

日本地下水学会「若手会」 杉山 歩\*

日本地下水学会 2019 年秋季講演会の開催にあわせ、2019 年 10 月 10 日(木) 10:00~12:00 に松江テルサにおいて日本地下水学会若手交流会を実施した。本交流会は、昨年度実施した若手交流会が好評だったことを踏まえ、本年度も所属研究室・所属機関の紹介を通じた学生、若手研究者、技術者の交流を目的に実施した。交流会では、参加者に予め準備して頂いた簡単なパワーポイントの資料を基に質疑応答を含め、1 人あたり 7 分程度の発表を行った。

今回の若手交流会の参加者は、大学学部生、大学院生、研究機関、企業の若手技術者など、様々な所属の若手研究者や若手技術者が中心となり、22 名であった。留学生の参加者による英語の発表もあり、国際的な交流も行うことができた。参加者に記入いただいたアンケートの結果からは、日本地下水学会にたくさんの若手研究者や若手技術者がいることを知ることができたことは良かった、自分とは異なる所属の若手の話を聞くことができて良かった、などの感想が多く、今後も若手イベントがあれば参加したいという意見が多数であった。また、地下水に関わる仕事をしている若手技術者や学生に向けておすすめの本、論文等をベテランから情報提供をいただきたい等のご意見もあり、日本地下水学会若手会で検討していきたいと感じた。今回若手交流会に初めて参加いただいた若手技術者からは、以下のような感想を頂いた。

「若手交流会ということで参加されたメンバーは、現役の学生、研究所に務めている研究者、そして、私ら民間会社に属する実務経験数年からなる若手技術者の集まりでした。昨今話題に上がる「技術の伝承」という観点からも、本交流会は非常に有意義なものであると感じました。仕事として、対お客様が抱えている問題(現象)と向き合っていく反面、それらを解決するための、ホットなトピックスに触れられる機会はそう多くはありません。自己紹介から垣間見る各々の専門性から、同じ「地下水」に括ったとしても「見ようとする現象」がこんなにも違うものであるのか、という事を再認識させられた場でもありました。今後は、これら専門性の違いを排他的に扱うということではなく、それらを組み合わせて何かを創造していく場にしていくのも、若手交流会の意義なのではと感じました。」

次回の若手会企画は、2020 年春季講演会前後で開催を計画している。幅広い所属の若手が参加することで、地下水に関わる若手同士の交流がより一層深まるような企画を計画したい。日本地下水学会若手会は、地下水分野に関わる若手研究者・技術者の交流を目的に作られた組織であり、コアメンバー数名で若手企画の計画・運営を行っている。日本地下水学会若手会、コアメンバーへの参加は、学生・社会人問わず随時募集している。ご興味のある方は下記地下水学会事務局 (MAIL:chikasui@nifty.com) まで、その旨ご連絡ください。



写真 1. 若手交流会の様子

\*株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング